

新座市立池田小6年

工藤 翔和 12 (新座市)

五年生の夏休み、その日はサッカーの公式戦で緊張のあまり体がガチガチに固まっていた。腰かけると一枚の枯れ葉が目につきました。

枯れ葉の真ん中には、ハートの形をした穴があいていました。近くにあった友達に伝えるとすぐ寄ってきて、二人で葉をじーっとながめました。不思議とおもしろくなり、一呼吸すると顔を見合わせてゲラゲラ大笑いしました。

試合のことなどすっかり忘れて、体の硬さもほぐれ、緊張感もどこかへ飛んでいってしまいました。リラックスした状態で臨んだ公式戦は、自分の得点で勝利して、チームみんなで大喜びしました。

その日以来、枯れ葉は僕のことを和らげてくれる魔法の葉っぱだと信じるようになりました。今シーズンも緊張したら枯れ葉を見つめ、「今日はどんなパワーをもたらせるのかな」と気持ちを持ちこを盛り上げようと思っております。